

Q&A

発熱・全身倦怠感で受診した50歳代男性

【問 題】

症例：50歳代男性。

主訴：発熱・全身倦怠感。

既往歴：B型急性肝炎（35歳）。

生活歴：アルコール 機会飲酒，タバコ 非喫煙者。

現病歴：男性同性愛者。約30日前から全身倦怠感、嘔気、頭痛、食思不振出現。3日前から38℃台の発熱あり、近医受診。ビタミン剤、H2受容体拮抗薬など処方され、帰宅。当日採血で高度の肝障害が判明し、呼び出しの上、紹介受診、即日入院となった。

入院時現症：171cm, 82kg, 体温38℃, 血圧120/85mmHg, 脈拍86/分整, 眼瞼結膜に貧血なし, 眼球結膜に軽度の黄染。心音異常なし, 呼吸音異常なし。腹部平坦, 圧痛なし。四肢に浮腫なし。

血液検査所見：白血球3000/ μ L（好中球45.9%, リンパ球30.0%, 異型リンパ球12.5%）, RBC543万/ μ L, Hb15.7g/dL, 血小板9.0万/ μ L, 総蛋白

7.4g/dL, アルブミン3.6g/dL, AST8400U/L, ALT7100U/L, LDH10169U/L, ALP390U/L, GGT426U/L, 総ビリルビン2.9mg/dL, 直接ビリルビン2.0mg/dL, BUN21.5mg/dL, クレアチニン1.75mg/dL, CRP1.28mg/dL, プロトロンビン時間52%, プロトロンビンINR1.49, HBs抗原陰性, HBs抗体陽性, IgG-HBc抗体陽性, HCV抗体陰性, HIV抗体陰性, 抗核抗体陰性, IgG517mg/dL, IgM1514mg/dL, IgA279mg/dL。

尿検査所見：尿蛋白2+, 尿潜血2+, ビリルビン2+, 顆粒円柱1000個以上/WF。

画像所見：造影CTおよび腹部超音波検査 (Figure 1, 2)。

次の検査所見のうち、最も認められる可能性が高いものはどれか？

- 1) HBV-DNA 陽性
- 2) HCV-RNA 陽性
- 3) IgM-HA 抗体陽性
- 4) IgA-HEV 抗体陽性



Figure 1. 腹部超音波検査。

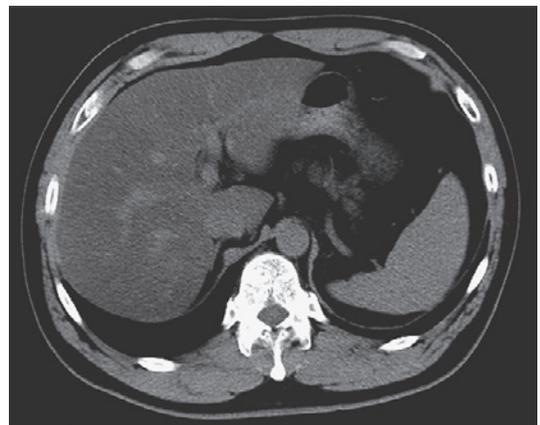


Figure 2. 腹部造影CT検査。